

スーパーマーケット景気動向調査

2016年5月調査結果（4月実績）
（2016年5月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

5月調査（4月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は小幅に改善も、見通し判断は弱含みな傾向が続く

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+0.6の47.3、見通し判断は前月から-0.4の43.4となり、現状判断は小幅に改善するも、見通し判断は小幅に低下した。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIともにわずかに上昇し、底堅く推移している。気温の上昇や土曜日が一日多い曜日めぐりを背景に客単価DIが上昇したことが支えとなっている。一方で、来客数DIは低迷を続けているほか、仕入原価の低下により、販売価格も低下傾向がみられている。

カテゴリー動向結果では、これまで好調を牽引してきた生鮮品では、青果DIのみわずかなプラスとなっているものの、畜産DI、水産DIはマイナスとなった。行楽需要が好調であった惣菜や機能性ヨーグルトが引き続き好調な日配DI、気温上昇や熊本地震による影響で一般食品DIがプラスとなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、現状判断はやや持ち直しをみせているものの、見通し判断は総じて弱含みな結果となっている。また、長期トレンドでは現状判断、見通し判断共に引き続き下降傾向が続いている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

足元では、売上や収益は、共に底堅い推移を続けているものの、来客数の低迷が続くなか、仕入原価や販売価格が下降傾向にあり、先行きへの不安が強まっている。現在は、価格上昇による売上増の好循環が試金石をむかえている局面であり、今後の動向を十分に注視していく必要がある。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月： 47.3 (+0.6) 前月：46.7	消費者購買意欲DI 当月： 48.1 (+1.8) 前月：46.3	周辺地域 競合状況DI 当月： 43.2 (-0.1) 前月：43.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月： 47.4 (-0.3) 前月：47.7
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月： 43.4 (-0.4) 前月：43.8	消費者購買意欲DI 当月： 44.7 (-0.5) 前月：45.2	周辺地域 競合状況DI 当月： 41.5 (-0.2) 前月：41.7	店舗周辺地域 景気判断DI 当月： 46.4 (±0) 前月：46.4
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月： -0.6 (+0.4) 前月：-1.0	客単価DI 当月： 6.3 (+1.7) 前月：4.6	来客数DI 当月： -7.1 (-1.1) 前月：-6.0	
収益DI 当月： 1.5 (+1.7) 前月：-0.2	販売価格DI 当月： 5.3 (-1.6) 前月：6.9	生鮮品仕入原価DI 当月： 7.4 (-3.6) 前月：11.0	食品仕入原価DI 当月： 8.4 (-1.0) 前月：9.4

カテゴリー動向

青果DI 当月： 1.9 (-2.8) 前月：4.7	水産DI 当月： -2.4 (-2.0) 前月：-0.4	畜産DI 当月： -1.2 (+0.4) 前月：-1.6	
惣菜DI 当月： 6.1 (+2.0) 前月：4.1	日配DI 当月： 5.1 (+0.6) 前月：4.5	一般食品DI 当月： 3.4 (+4.2) 前月：-0.8	非食品DI 当月： -4.8 (+2.0) 前月：-6.8

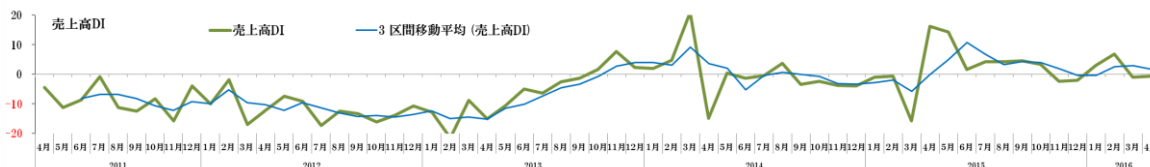
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

5月調査（4月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

わずかに上昇をみせ、底堅い推移が続く

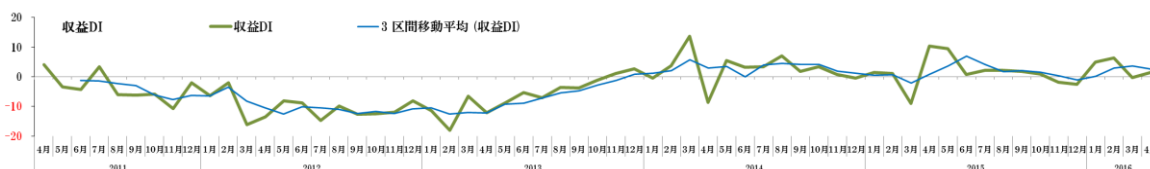
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.3	30.5	32.4	30.5	2.4	-1.0
売上高 (当月)	3.5	29.7	34.3	30.8	1.7	-0.6



2. 収益DI

わずかに上昇をみせ、底堅い推移が続く

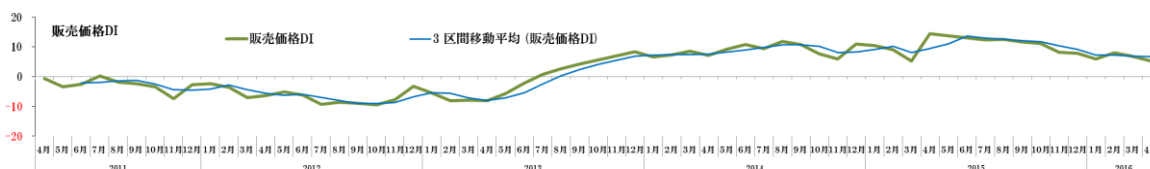
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	3.9	28.0	37.2	27.1	3.9	-0.2
収益 (当月)	1.2	28.0	36.9	31.5	2.4	1.5



3. 販売価格DI

小幅に低下し、下降傾向が継続

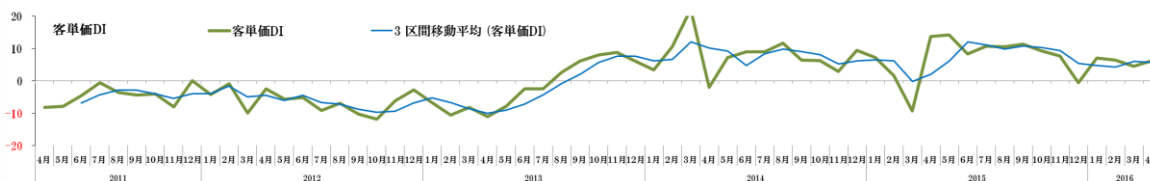
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	5.8	61.1	33.2	0.0	6.9
販売価格 (当月)	0.0	11.8	55.0	33.1	0.0	5.3



4. 客単価DI

小幅に上昇をみせ、底堅く横ばいで推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.5	14.4	51.4	33.7	0.0	4.6
客単価 (当月)	0.6	14.1	44.7	40.6	0.0	6.3



5. 来客数 DI

小幅に低下し、弱含みな状況が続く

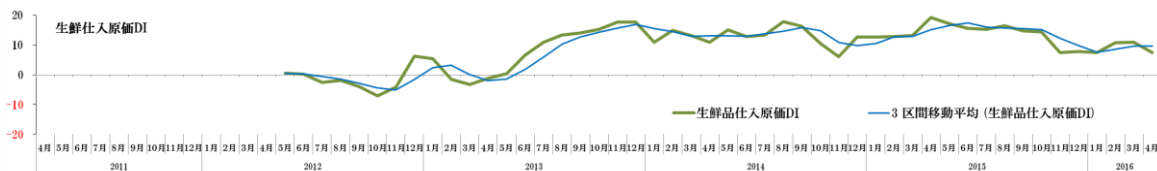
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.3	35.7	40.5	18.6	1.0	-6.0
来客数 (当月)	6.5	37.6	34.7	20.0	1.2	-7.1



6. 生鮮仕入原価 DI

当月は低下するも、横ばいでの推移が続く

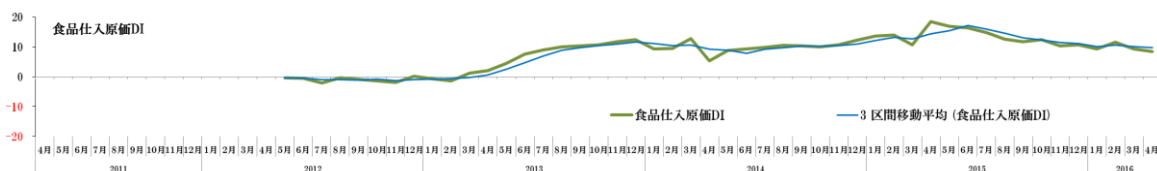
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.5	4.9	46.3	42.9	4.4	11.0
生鮮仕入原価 (当月)	0.6	7.9	55.2	33.9	2.4	7.4



7. 食品仕入原価 DI

小幅に低下し、ゆるやかな下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.5	3.9	52.2	40.5	2.0	9.4
食品仕入原価 (当月)	0.6	6.6	54.2	35.5	3.0	8.4

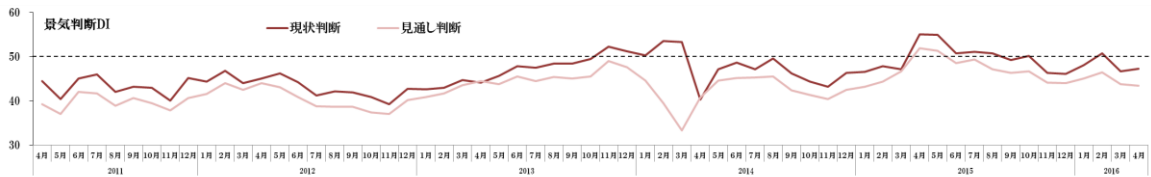


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に改善も、見通し判断は小幅に悪化

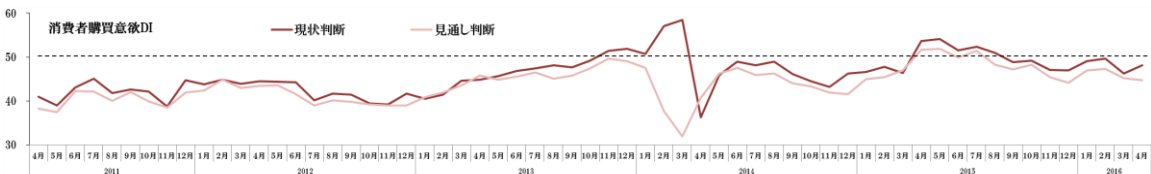
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.4	22.0	65.1	11.5	0.0	46.7
【現状】景気判断 (当月)	1.7	20.2	65.3	12.7	0.0	47.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.3	25.8	63.2	7.7	0.0	43.8
【見通し】景気判断 (当月)	4.0	27.0	60.3	8.6	0.0	43.4



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は改善も、見通し判断は小幅に悪化

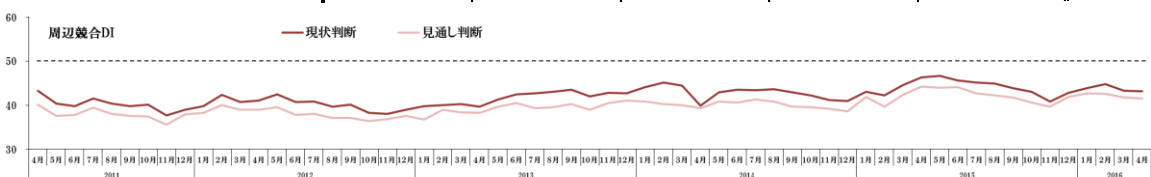
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	23.1	68.8	8.2	0.0	46.3
【現状】購買意欲 (当月)	1.2	15.6	72.8	10.4	0.0	48.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.0	23.2	70.0	5.8	0.0	45.2
【見通し】購買意欲 (当月)	2.9	21.8	69.0	6.3	0.0	44.7



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に横ばいでの推移

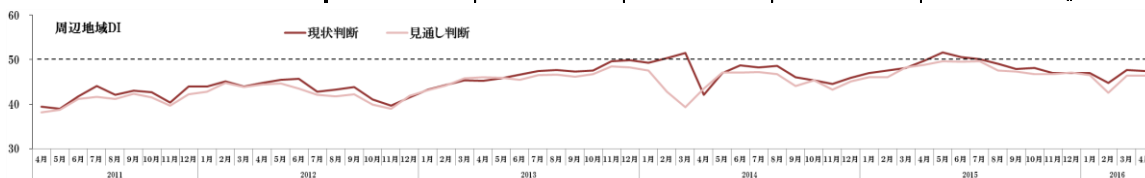
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.9	24.4	69.4	3.3	0.0	43.3
【現状】競合状況 (当月)	2.3	26.0	68.2	3.5	0.0	43.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.8	24.0	67.8	2.4	0.0	41.7
【見通し】競合状況 (当月)	5.7	25.9	64.9	3.4	0.0	41.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通し判断共に横ばいでの推移

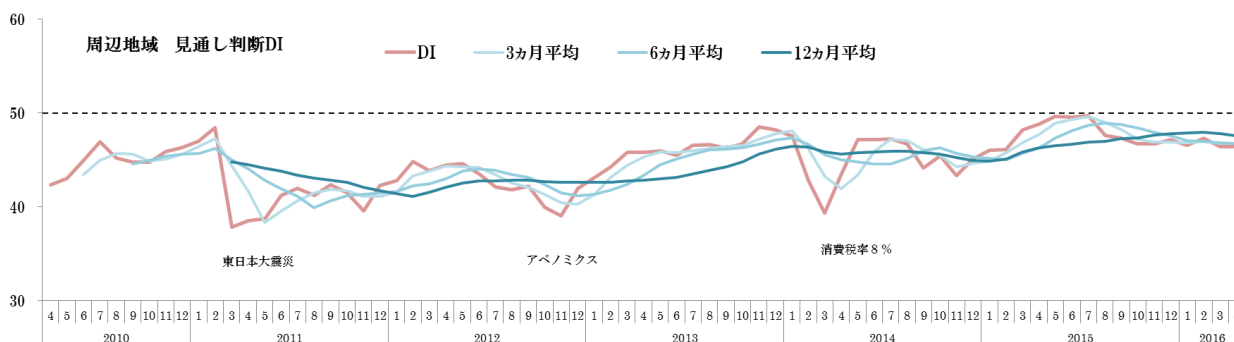
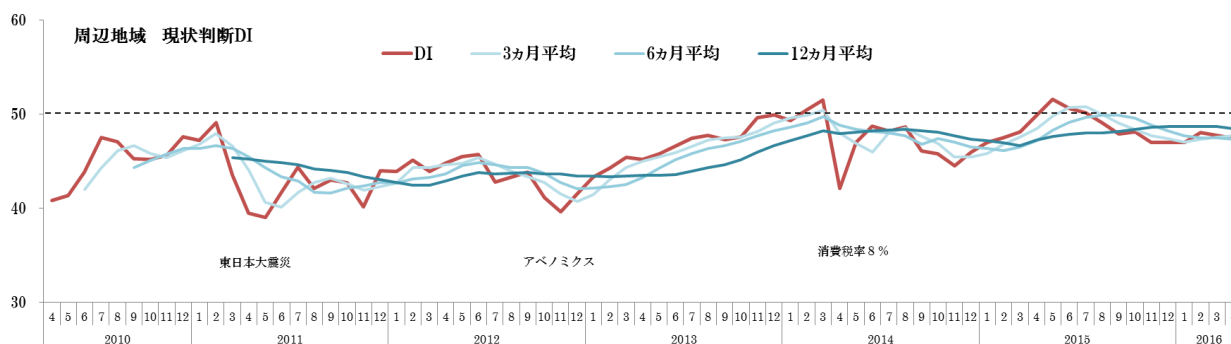
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	13.5	82.1	4.3	0.0	47.7
【現状】地域景気(当月)	0.0	14.5	81.5	4.0	0.0	47.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.5	16.4	80.2	2.9	0.0	46.4
【見通し】地域景気(当月)	2.3	13.9	79.8	4.0	0.0	46.4



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、直近2016年3月では再び下落している。

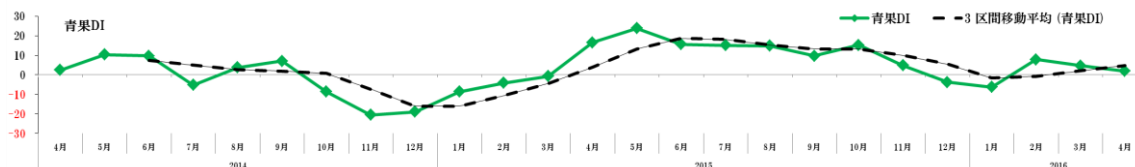
その結果、12ヵ月移動平均は、2015年2月以来、13ヵ月ぶりにマイナスを記録したほか、他の平均線もマイナス推移を続けており、引き続き弱含みな状況が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：1.9（やや好調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	4.0	20.2	34.3	35.9	5.6	4.7
青果（当月）	3.6	25.7	35.3	29.9	5.4	1.9

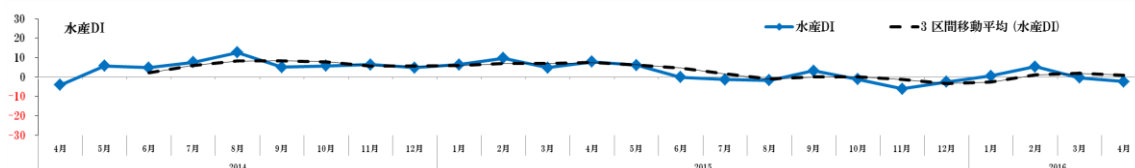


青果相場は、前半はやや高値、後半は下落するなど上下に幅のある動きとなりました。熊本地震の影響で、一時的に供給が滞るなど入荷が不安定となりました。

月を通じて気温が高く、サラダ関連やカットフルーツが好調となりました。野菜の販売数量が伸び悩むなかで、輸入果物（オレンジ、バナナ、キウイ）が好調となっています。国産柑橘類やいちごは、地域により好不調が分かれる結果となっています。

2. 水産DI：-2.4（やや不調）

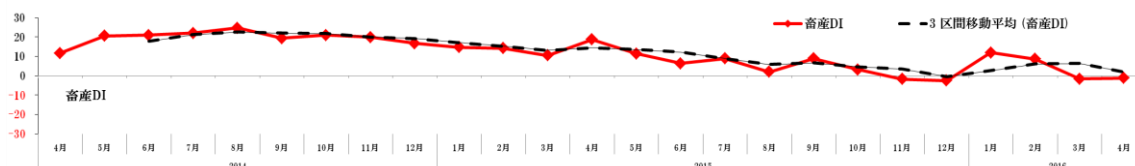
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	4.5	28.3	36.9	24.7	5.6	-0.4
水産（当月）	7.2	26.3	40.7	20.4	5.4	-2.4



生魚の入荷不足や相場高が続いており、やや不調となっています。気温の上昇により刺身類が好調とのコメントが多くなりました。アサリを中心とした貝類は熊本地震による入荷減により不振となっています。漁獲量の減少と相場高のマグロ、カツオは不調とするコメントが多くみられました。TV 報道により海藻類（もずく、めかぶ）などは好調となっています。

3. 畜産DI：-1.2（やや不調）

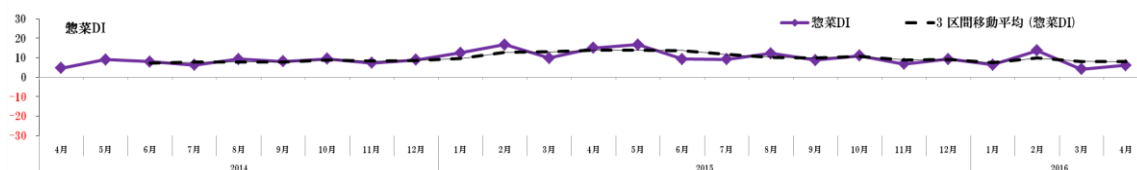
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.6	28.8	36.4	25.3	4.0	-1.6
畜産（当月）	3.0	30.3	37.6	26.7	2.4	-1.2



国産牛相場の高騰が続いている一方で、輸入牛や豚肉や鶏肉相場は低下傾向にあります。気温上昇に伴い、焼肉やバーベキュー用商材が好調となっています。国産牛は伸び悩みをみせているものの、輸入牛や豚、鶏の価格低下が数量増につながった店舗では、好調とのコメントが多くみられました。一方、行楽商材の代表ともいえるはずの、ソーセージやハムなどの加工肉は引き続き不調とのコメントが多くなっています。

4. 惣菜DI：6.1（やや好調）

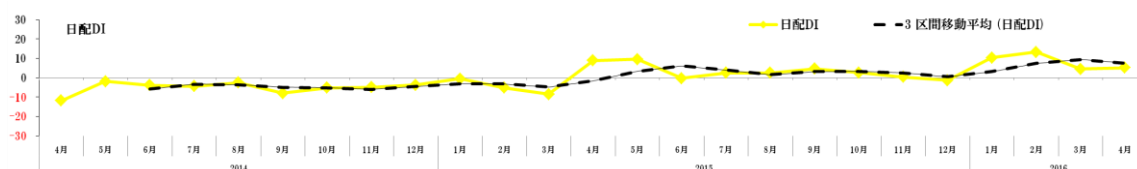
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	4.1	19.8	38.6	31.0	6.6	4.1
惣菜（当月）	3.7	15.9	42.7	28.0	9.8	6.1



花見シーズンが4月にずれ込んだことで好調となったが、天候不順により、伸び悩んだ地域もみられた。週末に好天に恵まれ、行楽需要が高まった地域では、弁当やおつまみ、オードブルなど好調に推移しました。気温の変化が大きく、売れ筋が変化したため、対応に苦慮したとのコメントが散見されました。人手不足で需要に対応しきれなかったという指摘もあります。

5. 日配DI：5.1（やや好調）

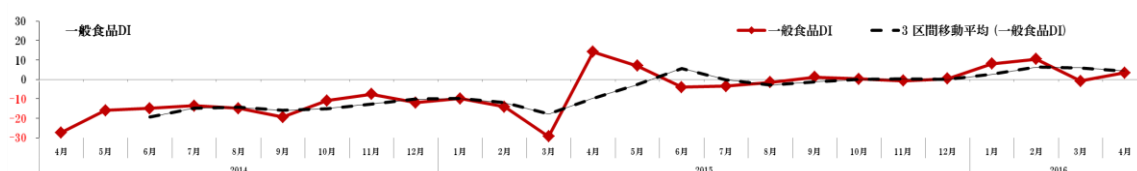
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	2.6	20.9	37.8	33.7	5.1	4.5
日配（当月）	1.8	18.0	43.1	32.3	4.8	5.1



前半は全国的に気温が上昇し、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などが好調に推移しました。一方で、気温の変化が大きく、売れ筋が変化したため、対応に苦慮したとのコメントが散見されました。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっています。熊本地震により九州地区を中心に、納豆やパンなどで商品供給に影響がありました。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。

6. 一般食品：3.4（やや好調）

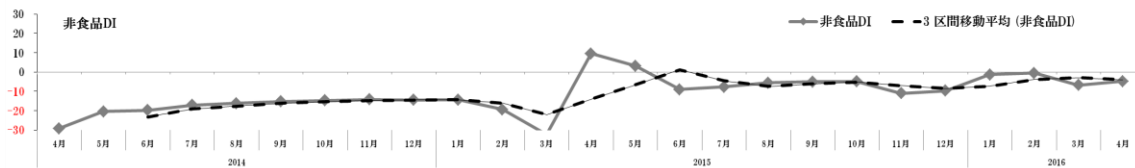
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	3.0	27.4	42.1	24.4	3.0	-0.8
一般食品（当月）	3.0	19.6	42.9	29.8	4.8	3.4



気温の上昇や、行楽需要により飲料や酒類、お弁当商材などが好調。米は昨年の不振だった反動から好調に推移しています。中旬以降は、熊本地震の影響で水、カップ麺、缶詰、レトルトなど備蓄商品が大幅に売り上げを伸ばしました。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。

7. 非食品 DI：-4.8（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	9.5	32.6	36.8	17.9	3.2	-6.8
非食品（当月）	6.8	30.2	42.6	16.0	4.3	-4.8



他業態との競合で厳しい状況にあります。行楽関連が好調とのコメントが散見されました。地震発生以降は、マスクや懐中電灯、乾電池など非常用品の需要が高まりました。たばこが値上げを受けて不調となっています。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年5月調査（4月実績）キーワード TOP3

1. 気温上昇（気温の変化が激しい）
2. 前年に比べ、土曜日が一日多い
3. 熊本地震の影響

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

4月実績速報版 174社
 3月実績確報版 210社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp